



## 安全で安心できる 住みよいまちづくりを

置戸町長 井上 久男

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまには、希望に満ちた輝かしい新春を健やかに迎えるのことに、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から町政の推進に多大なご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、置戸のご当地キャラクター「おけばんばくん」の誕生や、NPO法人「たちつと」が本年1月より運営をスタートさせる障がい者の活動拠点施設「キッチン木の実」の完成、また、旧勝山小学校校舎の大規模改修による地区公民館への転用、さらには、今や全国区の知名度を誇るオケクラフトが誕生して30周年の節目を迎えるなど、明るい話題が数多くありました。

また、平成27年には野付牛村から分村して100年を迎えることから、その大きな節目を町民一丸となってお祝いするための企画委員会を立ち上げ、開町100周年にふさわしい記念事業となるよう精力的に検討協議が進められました。

本年は、企画委員会から実行委員会へ移行し、具体的な準備作業に入ります。

一方で、10月には、台風26号などの影響により一時ほぼ全世帯となる1,811戸が、最長で丸一日以上にも及ぶ大規模な停電を経験しました。幸いにして人的被害はありませんでしたが、農業や林業への被害もあり、あらためて、自然の驚異を思い知らされた年となりました。この災害で得た教

訓をもとに、各関係機関との連携を図りながら、町民の皆さまが安心して暮らせるよう、防災体制の再構築・整備に努めてまいります。

町の財政状況は、財政の健全化を表す判断比率では、一層健全性が保持されているものの、平成26年度の収支見通しは、人口の減少や国の財政規律による地方交付税の減額などにより歳入不足が見込まれ、財源確保の不安定さが予測される状況にもあります。

このような中、投資的経費は、簡易水道及び下水道施設の大規模改修、長寿命化計画に基づく橋梁の修繕、置戸中学校校舎の耐震改修工事など、大型事業を予定しており、財源対策をはじめ知恵を絞りながら、社会資本の整備・充実に努めてまいります。

結びとなりますが、今後とも行財政の健全化を図りながら、安全で安心できる住みよいまちづくりを推進するために、暮らしに直結した施策を職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆さまの格別なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして、健康で幸多き年となりますことを心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。